

＜三重県工業研究所メールマガジン＞ 第 21 号（1 月号）

・・・・・・・・・・・・・・・・2024 年 1 月 11 日発行・・・・・・・・・・・・・・・・

目 次

- 【1】三重県工業研究所だより第 16 号のお知らせ
- 【2】エネルギー技術研究課の紹介：「太陽電池用波長変換塗料」
- 【3】開放機器の紹介：「LED 配光測定装置」
- 【4】第 2 回 電動自動車 分解展示・解説セミナーのご案内
- 【5】新市場創造型標準化制度活用セミナーのご案内
- 【6】令和 5 年度 MIESC 北勢セミナー「生成 AI 活用セミナー」のご案内
- 【7】令和 6 年度事業説明会の参加者を募集しています
- 【8】「愛知県産業立地・再投資促進セミナー」の参加者を募集します

【1】三重県工業研究所だより第 16 号のお知らせ

今月号は、エネルギー技術研究課が「LED、ディスプレイから次世代照明用途まで発光部材の研究開発を支援しますー発光・蛍光材料の試作、製造手法、発光特性評価ー」について紹介します。

▼工業研究所だより第 16 号はこちらからご覧ください。

< <https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001115444.pdf>>

【2】エネルギー技術研究課の紹介：「太陽電池用波長変換塗料」

今月号では、エネルギー技術研究課の取組概要と保有機器をご紹介します！
エネルギー技術研究課は、カーボンニュートラルを目指すべく、主にエネルギー関連技術に関する研究および技術支援を行っています。

現在、日本の地球温暖化対策はまさに「待ったなし！」の状況であり、国では「第 6 次エネルギー基本計画」（2021 年）において、地球温暖化防止の国際的取組「パリ協定」に基づき、2030 年までに温室効果ガス（GHG）排出量を 46%削減（2013 年対比）、2050 年までに GHG 排出量実質ゼロを掲げています*1-2。

このような中、三重県では、地域資源や地理的条件などを活かしたエネルギーの創出と、新エネルギーの導入による温室効果ガスの排出抑制、産業振興、地域づくり等を推進するため 2014 年 3 月に「三重県新エネルギービジョン*3」を策定し、2 度の改定（2016 年 3 月、2020 年 3 月）により SDGs（持続可能な開発目標）などを盛り込んで取り組んでいます。

ビジョンの中で、三重県工業研究所では「環境・エネルギー関連産業の育成と集積」を担

当し、「研究開発の促進」の中で太陽電池の高性能化について研究開発してきました。

再生可能エネルギーの主力である太陽電池は、震災後、特に注目されており、その変換効率の向上技術は極めて社会ニーズの高い課題となっています。太陽電池の中で最も普及しているシリコン系太陽電池は、多結晶型、単結晶型、アモルファス型があり、普及が急速に進んだものの変換効率の向上が頭打ちであり、いずれも紫外線領域の光を電気に利用（変換）できていない状況です。特に、一般家庭で普及が進んでいる多結晶型は、赤色（650nm～）領域の光に感度が高いため、紫外線の光を赤色に変換するシステムが構築できれば、太陽電池の変換効率の向上が期待できます。

このことから、当課では蛍光体の技術シーズを活用することで、太陽電池の光電変換で未利用のエネルギー（紫外領域）を、利用可能な可視光領域（赤色）に変換して太陽電池の効率向上に関する技術を開発しました。

具体的には、太陽光の未利用エネルギー（紫外線領域）を太陽電池が利用できる可視光（赤色）に変換できる「塗料」の形態であり、太陽電池のカバーガラス表面に波長を変換する塗料を塗布するだけで発電効率が向上できる技術です。本開発品は錯体蛍光体含有塗料であり、従来品（有機系）と比べて紫外線を受けて強く赤色発光し、耐久性が優れていることから、太陽電池パネルの清掃等のメンテナンス時にガラス表面に塗布して利用する方法を想定しています。

*1：経済産業省資源エネルギー庁「第6次エネルギー基本計画」：

<<https://www.meti.go.jp/press/2021/10/20211022005/20211022005-1.pdf>>

*2：環境省ホームページ：<<https://www.env.go.jp/>>

*3：三重県新エネルギービジョン：

<<https://www.pref.mie.lg.jp/common/05/ci500004109.htm>>

【3】開放機器の紹介：「LED配光測定装置」

機器設備名：LED配光測定装置

型式：朝日分光(株)IMS-5000

用途：省エネの発光デバイスとして普及したLED（発光ダイオード）の配光特性を測定する装置です。具体的には、サイドコンタクトタイプ（表面実装型LED）、フィルム配光タイプ（LEDを光源としてフィルムシートの配光を測定）のLEDについて、受光器（波長範囲：350nm～840nm、分解能：5nm）により光の分布（配光）を測定します。

なお、LEDのアタッチメントはφ3mm およびφ5mm 砲弾型が基準となりますが、詳細な条件をご希望の方はお気軽にお問合せください。

使用料

基本料金：370 円／回、使用料金：0 円／時間

—お問合せ先—

電話（059-234-1968）またはこのメール末尾に記載のアドレスまでお問合せください。

▼試験機の詳細はこちら

<https://www.db.pref.mie.lg.jp/db/view/details.asp?INFO=TWl3Mk1TeHJNVFUyTURNdw%3D%3D&RECORDNO=506&>

【4】第2回 電動自動車 分解展示・解説セミナーのご案内

三重県では、次世代自動車への関心や理解を深めていただくことを目的に、工業研究所において、ハイブリッド自動車等のバッテリーやモーターといった構成部品を分解して展示しています。

この度、電動車（特にEV）、e-Fuel、水素エンジン等の脱炭素化エンジン、及び関連する主力製品（e-Axleやパワー半導体、車載用バッテリー電池等）の最新動向と今後の展望について、(株)デンソーで長年パワートレインシステム開発で活躍され、現在もパワートレインの動向調査や講演活動を続けている K&K テクノリサーチ社長の加藤克司氏を講師にお招きし、ご講演をいただきます。

1. 開催日時：令和6年1月31日（水）13時30分から16時30分まで
2. 開催場所：三重県工業研究所（三重県津市高茶屋5-5-45） 駐車場あり
3. 対象者：県内製造業を中心に、次世代自動車に関心をお持ちの方
4. 定員：50名（先着順）
5. 参加費：無料
6. 内容：（1）講演

「世界の主な地域での電動車（特にEV）の最新動向やカーメーカーの今後の電動化戦略とEV関連の主力製品（e-Axle、EV用電池等）の今後の展望」

講師：K&Kテクノリサーチ 社長 加藤 克司 氏

（2）部品分解展示見学・解説／工業研究所紹介

▼詳しくは、こちらをご覧ください！

<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0031300397.htm>

▼お申込みは、こちらから！

<https://logoform.jp/form/8vMX/435405>

▼問合せ先

三重県 雇用経済部 新産業振興課 服部・山本 （電話：059-224-3113）

【5】新市場創造型標準化制度活用セミナーのご案内

「開発した製品の付加価値を高めたい」「自社製品を効果的にPRしたい」等のご希望をお持ちではありませんか？新市場創造型標準化制度では、事業者様主導でJISを制定し、市場のスタンダードを作ることが可能です。それにより、自社製品の差別化やブランド力向上等、冒頭のご希望に応えることにつながってまいります。

このセミナーでは、制度の概要を説明するとともに、実際の事例についてもご紹介いたします。ぜひ、ご参加ください。

1. 開催日時：令和6年1月19日（金） 14時00分から17時00分まで
2. 開催形式：ハイブリッド形式
対面：ユマニテクプラザ3階 研修室306（四日市市鶉の森1丁目4-28）
オンライン：Cisco Webex
3. 定員：30人（対面15人、オンライン15人）
4. 参加費：無料
5. 内容：講演1 標準化の戦略的活用と新市場創造型標準化制度について
講師 一般財団法人日本規格協会 標準化アドバイザー 宮崎 正治 氏

講演2 「きず」の基準を作り、評価コストを低減
講師 ANALYZER株式会社 代表取締役社長 江崎 泰史 氏

講演3 県内企業の特許発明と標準化
講師 INPIT 三重県知財総合支援窓口 相談対応者 杉山 早実 氏

※セミナー終了後相談会を行いますのでぜひご参加ください。

▼詳細及びお申込みは、こちらよりご確認ください！

<https://www.miesc.or.jp/support/contents/860/>

▼主催・お問合せ先

公益財団法人三重県産業支援センター 北勢支所

担当：橋爪、安達

〒510-0074 四日市市鶉の森1丁目4-28 ユマニテクプラザ1階

TEL：059(327)5830 FAX：059(327)5831 MAIL：h-miesc@miesc.or.jp

【6】令和5年度 MIESC 北勢セミナー「生成 AI 活用セミナー」のご案内

中小企業を対象にした「生成 AI 活用セミナー」を開催します。生成 AI の業務活用を検討されている方のご参加をお待ちしております。

1. 開催日時：令和6年1月24日（水） 14時00分から15時30分まで
2. 開催形式：ハイブリッド形式
対面：ユマニテクプラザ3階 研修室306（四日市市鶉の森1丁目4-28）
オンライン：Zoom
3. 定員：30人（対面15人、オンライン15人）
4. 参加費：無料
5. 内容：
 - ・生成 AI とは
 - ・生成 AI のメリット・デメリット（リスク）
 - ・生成 AI サービス GaiXer の紹介
（GaiXer の体験、グループディスカッションあり）講師：株式会社 FIXER 生成 AI コンサルタント 山下 翔 氏

※PC、タブレット、スマートフォンのいずれかをご持参ください。
実際に GaiXer をご体験いただけるプログラムを用意しております。
生成 AI サービス GaiXer の詳細は、以下 URL よりご確認ください。
<https://www.gaixer.com/ja-jp/>

▼詳細及びお申込みは、こちらよりご確認ください！

<https://www.miesc.or.jp/support/contents/889/>

▼主催・お問合せ先

公益財団法人三重県産業支援センター 北勢支所

担当：橋爪、安達

〒510-0074 四日市市鶴の森1丁目4-28 ユマニテクプラザ1階

TEL : 059(327)5830 FAX : 059(327)5831 MAIL : h-miesc@miesc.or.jp

【7】令和6年度事業説明会の参加者を募集しています

県内中小企業の皆様の、円滑かつ効率的な運営に役立てていただけるよう、令和6年度に予定している事業（見込み）の説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。

▼日 時 2月2日（金）13時30分から16時30分まで

▼会 場 四日市市地場産業振興センター（じばさん三重）5階 研修室5
（四日市市安島一丁目3番18号）

▼定 員 50人 ※要事前申込・参加無料

▼対 象 県内中小企業

▼内 容

13時30分 開 会

13時35分 各関係機関からの説明

（1）中小企業基盤整備機構

Go-Tech事業等について

（2）三重県

雇用経済部関係事業について

工業研究所関係事業について

（3）三重県産業支援センター

三重県産業支援センター関係事業について

15時15分 情報交換会

15時30分 個別相談

16時30分 閉 会

▼申込方法 申込フォームより申込（締切1月26日（金））

申込フォームURL <https://forms.gle/MFWCqsGksTcBWmHV9>

▼お問い合わせ

三重県産業支援センター事業部技術支援課

TEL 059(253)1430 FAX 059(228)3800 E-mail gijutsu@miesc.or.jp

【8】「愛知県産業立地・再投資促進セミナー」の参加者を募集します

愛知県では、県内企業の当地域への再投資を促すため、「愛知県産業立地・再投資促進セミナー」を下記のとおり開催します。

県や国の施策紹介に加え、現場の生産性向上や人手不足対策に向けた「省人化・自動化」をテーマに、有識者から産業用ロボットの導入課題やロボット技術の今後の展望等について御講演をいただきます。

また、県内企業から県の補助金の活用やロボットの導入について事例紹介をいただきます。

セミナー後には参加者間の名刺交換会も行いますので、是非御参加ください。(無料)

【日 時】 令和6年2月14日 (水) 14:30~17:00

【場 所】 名古屋国際センター別棟ホール (地下鉄桜通線「国際センター」駅直結)

【内 容】

- ・ 基調講演
株式会社デンソーウェーブ ソリューション事業部
FA システムエンジニアリング部 部長 澤田 洋祐氏
- ・ 愛知県立地企業による事例紹介
株式会社アイシン グループ生産技術本部 生産革新推進部
物流技術室 室長 渡邊 豊氏
株式会社ミワテック 代表取締役社長 山本 智廣氏
- ・ 国・県による施策紹介
※セミナー後、参加者間の名刺交換会を行います

【参加費】 無料

【定 員】 100名 (申込多数の場合は抽選となります)

【申 込】 下記申込専用 Web ページからお申し込みください。

<https://seminar-success.com/p/r/Om3aAdN2>

【問 合 先】 愛知県経済産業局 産業立地通商課 052-954-6342

=====
■□■ このメールマガジンについて ■□■

◎皆さんからのご意見、ご質問、ご感想などをお待ちしております！

[編集・発行]

三重県工業研究所 企画調整課

〒514-0819 三重県津市高茶屋5丁目5番45号

電話番号：059-234-4036 ファックス番号：059-234-3982

ホームページアドレス：<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/>

メールアドレス： **kougi** に続いて、**@pref.mie.lg.jp** を付記してください。

～ 「@」は全角になっていますので、半角に変更してください。～

～ メールアドレス収集ロボット対策としてご了承ください。～
